

号外！ 『プロ野球を面白くする人々

阪神タイガースファン名言珍言集—幸せのヒミツ』

著・猛虎魂会、寄稿・植島啓司

の、読者語録集!!

発売から10日。すでに、たくさんの阪神ファン、トラキチさんたちが、ブログなどで本書を紹介してくださっていて、感激です。一部をご紹介します。全16ページです！

編集 by 猛虎魂会

●テレビ画面の独り言 <http://blog.goo.ne.jp/ni836000/e/379bb8aad4159a422e72399b4e12c112>

テレビの仕事をしていて、感じた事、面白かった本や映画、テレビ番組、その他エンタテイメントを書き綴ります。

阪神タイガースファン名言珍言集

2008年10月02日 / 本・雑誌・漫画



阪神タイガースファン名言珍言集
猛虎魂会
中経出版

おもしろい・・・この本。阪神ファンは凄いわ。

●好きなものは好き <http://torapu.blog116.fc2.com/> ※おくにとらプーさんのブログ

読書の秋って事で（別に関係ないですが…(;^ω^A ｱｰｱｰ) 今日本屋でこちらを購入しました。え〜っと、1冊はスポーツ雑誌の「Number」です。私はちよくちよく購入するんですが、中の文章も好きなんですが何と言っても写真がキレイなのです。

(次ページにつづく)



こちらが「Number」アラフォーと岡田はんが…。



こちらは面白い本でしたよ。

アラフォー3人やひーやんのインタビュー、岩田君や安藤さん、あと江夏さんが今年の虎を分析してますね。もしよろしかったら読んじゃって下さい。「Number」は結構阪神の特集をやってくれるので嬉しいです。(今回の矢野さんの特集の写真がカッコ良かった~のですィ♪ (-ω-)*) ♪ 結局ソレです。)

一方、右側の本は「阪神タイガースファン名言珍言集」って本で、ちょっと立ち読みをしたんですが「うわ~わかるわかる」ってな具合に虎ファンの事を書いてありました。今はあんまりないですが面白いオッチャンの野次の名言が載ってます。この野次が今読んだ中で一番面白かったです(;^ω^A アセアセ

「岡田！掛布！打たれへんかったら顔で笑かして打つたれ！お前らには顔と言う武器がある」

まあ~思ったんですが阪神関連の本は本当に一杯あるなあ~って思いましたよ。真面目なものやらこういう砕けたものまで…。私は楽しい内容の方が好きなんでついついこの本を購入しちゃいました。もし、お暇な時間がありましたら読んで見て下さい (**試合に負けた時とか癒しになるかも**)



あの~ちょっとその本を載せてみたんですが…。もし読んでみたい方はクリックして大きくして見て下さい。それでも読みにくかったら、画面を拡大すれば読めるかと思います (不親切ですみません((。´・ω´)。´_`))

●ミックのオーナーの日常 <http://mickcorgi.jugem.cc/>

阪神タイガースファン名言珍言集



職場の先輩から借りた本。

阪神ファンの皆さんのタイガースへの愛が詰まった一冊です。

プロ野球に思い入れのない私でも関西に生まれ育った縁で本書に掲載されているタイガースの様々な出来事の一部は知っています。

それがディープなファンとなれば本を読んでいる私の横で「フィルダーは阪神辞めて大リーグに行ってからブレイクした」とか「ヒルトン起用でフロントと揉めてブレイザーが辞めた」とか掲載内容をことごとく語ってくれます。

また、甲子園球場で本当にあったヤジを集めた章では関西人の心意気を感じます。

関西に縁のあるアナタ、関西に興味があるアナタ、ぜひ御一読を!!

2008.09.30 Tuesday [00:06](#) | [本・漫画](#) | [comments\(0\)](#) | [▲](#)

●[ボードルーム](#) | [ボイス](#) | [阪神タイガース公式サイト](#) より

その時間には近鉄のアーバンライナーの車中… >梅田で中止を知りました。 >ああ～～～ ああ～～～ >しおしお、と新幹線で帰りました。 >でも愛知では知ることができない『**阪神 タイガースファン名言珍言集**』をゲット >車中で笑いを堪えるのに苦労しました。 …

hanshintigers.jp/voice/bbs/138714/1-12-2.html - 14k -

● [ボードルーム](#) | [ボイス](#) | [阪神タイガース公式サイト](#) より

「[阪神タイガースファン名言珍言集](#)」 ...

>http://www.chukei.co.jp/cgi-bin/books/detail.rb?o_id=3162 >本屋で見かけて。 ...
hanshintigers.jp/voice/bbs/138820/1.html

● **阪神タイガース公式サイト「ボイス」(掲示板) より**

■ **阪神ファンの本 [ぼろん] さん** 10月2日(木) 17時21分
もし紹介されていたらすみません。

「[阪神タイガースファン名言珍言集](#)」

http://www.chukei.co.jp/cgi-bin/books/detail.rb?o_id=3162
本屋で見かけて少し読んでみました。

主な目次

- 1章 阪神タイガースは人生の縮図
 - 2章 トラキチもうなる面白ヤジ迷言珍言集
 - 3章 阪神名物・助っ人外国人列伝
 - 4章 阪神ファンが溺愛した歴代選手たち
 - 5章 猛虎魂の超英才教育
 - 6章 トラキチオヤジたちの遺言集
 - 7章 阪神川柳に見るファンのキモチ
 - 8章 甲子園—聖地のチカラ
- なぜ阪神が好きなのか あとがき風に

「タイガース」ではなくあくまで「ファン」という視点から作られた本で
球場で聞かれる様々なセンスの良い野次はもちろん、
いろいろ自分もあてはまるなあというか、再認識ができるのが面白いです^^
読まれた方いらっしゃいますか？

● 読みましたよ。立ち読み感覚でどうぞ。 [はやトラ] さん 10月2日(木) 18時15分
2章 **面白ヤジ迷言珍言集** から。

「(ヤクルト戦にて、) 青木——っ、お前は大きいリーグへ行ってええねんぞーっ」

「青木〜っ！ 北京行ったらゆっくりしてこいよー、万里の長城でも見てこいよーっ」

「青木〜っ、お前は大きいリーグか阪神かどっちかしか道はないぞーっ」

6章 **トラキチオヤジたちの遺言集** から。(ホントにあった遺言状らしいですよ。)

「甲子園のどこかに骨をまいてほしい。」

「巨人ファンとだけは結婚するなよ。」 →娘 「わかってるってば」

「Aクラス入りが見たかった。」(2000年11月没)

7章 阪神川柳に見るファンのキモチ

「665 666641 これなんだ」

→5秒以内にわかる人、さらにクスッと笑みがこみ上げて来た方のみ、この本をおすすめします。

生まれた時から、亡くなった後まで、人生＝阪神タイガースファンな人々の人生語録です。

匿名の、元阪神タイガース選手に質問。「阪神とは、あなたにとって一言で何ですか？」

Answer 「阪神ファン」(笑?) だったそうです。

●面白かった！[タイガーワン]さん

本屋で見かけて読んでみました。ひーひー笑う笑う。いちばん面白かったのは

2章 面白ヤジ迷言珍言集

甲子園1塁側アルプス席。バッター新庄剛志

「こんらあ～、新庄～、敬遠球打てるんやったらまっすぐも打たんかいーっ」
爆笑

●[あいちの虎ファン]さん

雨で中止になった試合の帰り、この本を新大阪で

見つけて新幹線で読みながら帰った。おもしろいです。

すこし気が晴れました。車中、声を出して笑いそうに何回なったことかー

●[はやトラ]さん 10月3日(金) 22時27分 ※ヤクルトにまさかの逆転負けを喫した夜 こんな夜こそ、読みたくなる本。

今夜のような試合展開、何かいつかどこかでやってしまった試合の

焼き直しの部類に過ぎない気がして、不思議と怒る気にもなれない。

大丈夫！今日みたいな試合、先輩達がえんえんと続けてきた伝統みたいなものだから。

7章 阪神川柳より。

「勝たぬなら 勝つまで待とう タイガース」

● ※別のボイスルームで、[あいちの虎ファン]さん 10月1日

※9月30日今期甲子園最終戦(対中日)が雨天中止に。

梅田で中止を知りました。ああ～～～ああ～～

しおしお、と新幹線で帰りました。

でも愛知では知ることができない『**阪神タイガースファン名言珍言集**』をゲット
車中で笑いを堪えるのに苦労しました。

● 私もさきほど帰宅しました [BigTiger]さん 10月9日(木) 1時0分

※今期巨人との最終戦に敗北、141試合目での首位陥落の夜。

トラッキーセブンさん、お疲れさまでした。今日は、仕事を一日休みをもらい、昼頃、浜スタへ、10/7 雨天ノーゲームとなった振替試合、胴上げを信じて、10/11 のチケット入手へ、レフト外野は完売かと思ったら、ラッキーなことに入手できました。ネット販売なら即完売でしょうが、浜スタまで行った甲斐がありました。

そして、早めに東京ドームへ、開門まで1時間以上待ち、4時の開門と同時に東京ドームへ。試合結果は、あらためて書く必要もありませんが、千葉の田舎に住んでいるので、東京ドームから自宅までは時間がかかりますが、失意の中、帰りの電車で、東京ドーム近くの書店で購入した「**阪神タイガースファン 名言珍言集**」を読みながら帰りました。

この本、今日みたいな日に読むとホットする感じです。
この本のおかげで、自分を見失わず、帰宅できました。

<http://www.7andy.jp/books/detail/-/accd/32137976>

皆さんもよかったです。

●RE:私もさきほど帰宅しました [トラッキーセブン] さん 10月9日(木) 1時19分
big tiger さんも観戦され、11日のチケットゲットされたのですね。応援、お疲れ様でした。

「**阪神タイガースファン 名言珍言集**」面白そうなので、今度、是非読んでみたいと思います。情報提供、ありがとうございました。

● やるっきゃないっしょ！ 2008/10/07 11:43:36

<http://soccersns.jp/member/17789/diary/97600/>



今日の先発は岩田みたい。勝利二桁に乗せろ～。

赤星大丈夫なんかな～？ちと心配。

明日は世間ではガチンコ対決だと…。

巨人は登録抹消してまで回復させた内海を出してくるはず。

阪神はおそらく安藤やろな～。

まあ、超ポジティブなおいらは

「クライマックスステージに出場確定やから、ドキドキワクワクの毎日が多い2位でもいいかな～。明日は親善試合やと思って勝て！」

写真の「**阪神タイガースファン名言珍言集—幸せのヒミツ**」

この本、いけてるわ～。

阪神ファンに「甲子園に足を運ぶ理由」

- 1 試合を見に行く
- 2 甲子園に来るファンを見に行く
- 3 何か面白いことを探しに

こんなノリの本。

あかん、死にそう～(笑)

●読書の秋 たけのブログ <http://ameblo.jp/takenaomiku/entry-10147696666.html>
2008-10-05 18:33:34

今日は家に引きこもり一日中読書。

「**阪神タイガースファン名言珍言集**」

かなりツボを抑えた内容で一日で読破した。中でも野次集は聞いた事もある野次もあり、マンガ以外の本で笑たん初めてやった。まあ最近汚い野次も結構飛び交ってるけど、負けてる時に周りを和ます野次やったら聞いてても腹立たんしね。

さて今日の対ヤクルトは如何に！

● アマゾン カスタマレビューから 1

これは面白い！共感しながらケタケタ笑えます, 2008/10/2 ★★★★★ By スプリングセブン

表紙の帯にあった

「阪神は人生の縮図」「おっちゃん文化を継承」
「人生はものごとを面白くしたものが勝つ！」
ということばにひかれて買ってみました。

一見、シンプルに見えますが、中身を開いたら
なにやらちょい派手で、楽しげな感じで、いかにも阪神っぽい。
特に「面白ヤジ迷言珍言集」や「トラキチオヤジたちの遺言集」は、
いやみのない面白い話やエピソードがいっぱい、
お腹をかかえて笑いました。

「阪神名物の助っ人外国人列伝」には昔の助っ人さんたちのことが
紹介してあって、ハズレな助っ人のまじな話やイラストにも笑います。
久しぶりに面白い本に出会いました。

● アマゾン カスタマレビューから2

ぶは一っと笑いながら最後まで読める, 2008/10/2 ★★★★★ By 阪神太郎 (兵庫県尼崎市)
阪神ファンが

「なぜあんなに阪神が好きなのか」
「なぜ負けても好きなのか」
「猛虎魂とは何なのか」
などを阪神ファンのことばをつないで紹介してありますが
その書きっぷりが面白い！！

「阪神川柳に見るファンのキモチ」の「複雑編」に
おもいっきりうなずきました。トラキチがつくった川柳で

「勝ちすぎて 逆に不安に 陥れり」
「一敗で 大連敗を 心配し」

まさに毎晩、こんなキモチですわ。
ほかに、暗黒時代のことをよんだ「過去編」もオモシロイ。
「監督編」それに「巨人編」、「甲子園編」、
それぞれ、阪神ファンってウマイこと言うなあーと感心します。

トラキチオヤジたちの遺言集にも、面白ヤジ迷言珍言集にも
全編に巨人編があって、これがまた愉快。
ぶは一っと笑いながら、最後まで読めて、
トラキチってええなあ〜という気分になれます。

● アマゾン カスタマレビューから3

地下鉄で読んで、吹き出してしまった, 2008/10/4 ★★★★★ By 大阪ルビー1号

阪神の公式サイト掲示板で話題になっていました。
なかでも、「雨で中止になった試合の帰り、この本を新大阪で見つけて新幹線で読みながら帰った。おもしろいです。
すこし気が晴れました。車中、声を出して
笑いそうに何回なったことか—」とあったので、どれどれ…と。

さっそく買って地下鉄で読んでみると、わたしの場合は
笑いをこらえきれずに吹き出してしまい、
ちょっと白い目で見られました。

「5章 猛虎魂の超英才教育」に、
トラキチことばの日本語訳がありました。
「われ、言うこときかんかい」（君、言うことを聞きなさい）、
「巨人がなんぼのもんじゃい！」（巨人がそんなにえらいのですか）
「うわっ、こらもうアカン、いてこまされた」（ああっ、もうダメ、絶体絶命です）。
これだけでもツボにはまりました！

● アマゾン カスタマレビューから4

ふろくまで楽しめる、球場に持っていきたい本！！, 2008/10/5 ★★★★★ By うな

本文のファンの迷言珍言集や川柳も面白かったのですが、
ふろくその1の、「阪神ファン度判定テスト」というのがユーモア満点で
楽しかった！ ふろくその2の「応援スタイルスタディシート」は、
イラストいっぱい面白いし、最後に六甲おろしの歌詞カードが
オシャレに入っています。このまま甲子園に持っていけるおすすめ本です！

● アマゾン カスタマレビューから5

ぼこぼこにやられた日にこそ読みたい本 2008/10/8 ★★★★★ By ビタミンカラー

阪神ファンのブログを読んでいると、
あちこちでこの本のこと紹介されていました。

「“うわ～、わかる、わかる～”という具合に
虎ファンのことが書いてある本」とか
「試合に負けた時に癒しになるかも」とか、
大事な一戦、まさかの逆点負けを喫した日に
「こんな夜こそ、読みたくなる本」など、多くの

ブログに書いてあったので、読んでみると…
まさに、まさに、そのとおりです。

今日はこれを持って東京ドームの巨人戦に挑み、
惨めに負けた後、これを読みながら帰ってきました。
折れそうになるとほほなハートをささえてもらいました。

阪神川柳より紹介。

「雨降れば 今日負けへんと ほっとする」
「勝たぬなら 勝つまで待とう タイガース」

● アマゾン カスタマレビューから6

阪神ファンのユニークな人生語録, 2008/10/5 ★★★★★ By フクスケ

生まれてから死ぬまで、家族や友達にその影響を残す阪神ファンの、阪神とともに生きる
人生悲喜こもごものことばがつづられている。

低迷時代からこのごろの強いタイガースを、生活とともに、家庭で、
普通にお茶の間で見つめてきたトラキチたちの、微妙～な複雑～な
キモチを面白～く伝えているから、「そうそう、わかるわかる、
ほんまやで、まさにそのとおり～！」と思いながら読めて、かなり痛快。

開幕時に甲子園で巨人に勝つと、

「うおお。今年はひよっとしてひよっとしたらひよっとするかも」。
「せやろ。おれもそんな気がちょっとだけするねん。
ひよっとしてひよっとしたら…」 「まさかなあ」「なあ」。

こういうちょっとした阪神ファンの日常会話の心理をついている。

甲子園球場が聖地といわれる理由について、

「聖地研究の第一人者でトラキチ」という学者の植島啓司さんによる
「聖地のチカラ」と題した寄稿があった。「そうか、やっぱり！
甲子園は他の球場とはちがうと思ってた」とポンとひざをたたく話だ。

「あのところ」を知っている阪神ファンなら、だれもが共感できる話が満載の一冊である。

● アマゾン カスタマレビューから7

阪神の本のなかでいちばん面白い!, 2008/10/2 ★★★★★ By SORA_0303 (東京都新宿区)

たくさん阪神の本を持っていますが、これはほかとは傾向がちがって、阪神ファンのココロについて書かれたオモシロ本です。

表紙はシンプルに見えますが、ページをめくると目次からして派手！

アマゾンの写真は、帯がついてないのでわかりにくいですが、他のサイトで見た、

「阪神は人生の縮図」

「人生はものごとを面白くしたものが勝つ！」

「阪神ファンのココロ、発想のチカラ大公開！！」

ということばにひかれて買いました。

特に、「トラキチオヤジたちの遺言集」にはオヤジさんたちが阪神のことを言い残した「遺言」を紹介してあるのですが、お腹をかかえて笑いました。

甲子園名物？の「面白ヤジ迷言珍言集」は、いやみがなくて共感できる笑える話がいっぱいこれでも爆笑。

東京の阪神ファンの友人は、大阪弁に翻訳がついてる箇所でもケタケタと声をあげて笑っていました。

「ピッチャー交代やっちゅうとんのに！」（注 交代と言っているでしょう）、

「うわ、こらもうアカン、いてこまされた」（注 ああっ、もうダメ、絶対絶命です）

この本を持って、今度、東京ドームに乗り込むで〜っ！

と言いたくなる、阪神ファンのためのお楽しみ本です。

● つれづれなるままに～じゃいあんと・けるぷにくるまれて～

<http://blogs.yahoo.co.jp/sinotoharu/17508058.html>

※抜粋

最初に読んだのは、

『**プロ野球を面白くする人々 阪神タイガースファン名言珍言集**』（猛虎魂会：著、中経出版）だった。

帯には

「優勝を目にしてぼう然自失 阪神は人生の縮図 人生はものごとを面白くしたものが勝つ！！
おっちゃん文化を継承 巨人が悪で阪神が正義 トラキチの精神性はレベルが高い」などとある。

ナンだかなー？

阪神について語る人々は、どこか皆個性的でギャグをかまし（ユーモアなどという高級感はない）、ナンとか自分のこの虎に寄せる思いの丈をアツアツで存分に表出し、かつ正当化する節がある。

しかして私は小学生からの大ファンなので、共感する内容続出のこの本に、夜中にも関わらず、次の日腹筋が筋肉痛になるほどゲラゲラ腹を抱えて笑うことになった。

ココまで一球団について自らの夢を載せて語り、自分自身と重ね併せて悲喜こもごもを語り、持ち上げてはこき下ろしつつも心から応援し、人生や生活そのものと語り、勝っても負けてもタイガース！と語り、親子代々ファン魂を継承し、遺言として出棺の時には六甲おろしをかけろとか、人生で3回優勝を見れたらそれ以上は期待するななどと子や孫に語り、下手にタイガースが勝ち続けると「どうなるんやこの後は…」などと不安に苛まれ、負けると何故かしらホッとするファンを持つ球団は…タブン唯一無二、阪神タイガースだけだろう。

さてこの本では甲子園でのお楽しみはゲームを観るのと共に、やって来る観客を観ることだとある。そう、この本はナニを隠そう？阪神タイガースのファンについて語られた本なのであった。

確かに甲子園では様々なデコレーション？したマイ・オンリー・ワン・ユニフォームやカツラ、好き勝手に興奮して自分の世界に入り込んで応援するファンの姿はもちろん毎回楽しみだ。そのいで立ちで家から来るのだろうと考えただけでも無茶に笑える（いや、私もきっと笑われている）。

確かにこの本の指摘通り、ドコかしら阪神ファンは垢抜けていない。ダサいしバタくさい。

何故に工事現場のおっちゃんみたいな、しかしてビシッと糊の利いた、

すそが無茶に広がったダボついたパンツには、

金本とか猛虎とか命とかアップリケか刺繍で付けた若い兄ちゃんをよく見掛ける。

しかして大切なそのマイ・ダボ・パンを、家で背中を丸めてアイロンを掛けている姿を想像するだけで、見た目イカツイその顔つきや髪型とのギャップに腹を抱えて笑い出しそうになるのを私は必死でこらえる。

そうして私は、そんな人々にナンとも言えない親近感を勝手に持つのだった。

連れてきて貰った子ども達も、特攻隊のごとしコテコテにキメて若い父ちゃんと一緒に楽しそうだ。

JR大阪駅でソレらを観たらとにかく浮いているのだが、タイガースの聖地・甲子園で観ると、そのいで立ちは大変イケてて、どっか懐かし気な一昔も二昔も前の不良の兄ちゃんか“ナメ猫”みたいで、“イナセ”というか“伊達男”のような感じが漂いなにせキマっているのだった。

それから勝っても負けても飛び交う野次は、常にウケを狙っていると私もいつも思う。

甲子園に行くとおっちゃんの野次が一番笑える。

しかもホントに負けてる時のほうが断然面白い。

無茶苦茶を言うからである。

「あ～、普通、そのようなお言葉を一般人に向けたら刺されますよ？」という塩梅の台詞から、本物の若手の芸人など足元にも及ばないというギャグをかませる人も居る。そしておっちゃんは空気を読んだり、その空気を作り上げるのに長けているツワモノまで居る。人生長く生きると、そういうコト（阪神と甲子園という特別な枠だけに関してかもしれないが）にとっても自然に馴染む空気をまとったおっちゃんが確かに居る。本の内容に納得しながら腹を抱えて笑う。そうしてナニが凄いと云えば、なんでも無いような内容においてまで彼らは笑わせてくれるのだ。

9月下旬（確か22日だったか？）に甲子園に行った際、1塁アルプスの後ろの方で

「かーつーらーぎー————っつ！」

と何度も叫んでいるおっちゃんが居た。あまりのしつこさにだんだん皆がくすくす笑い出す。最初はゲームを楽しんでいるのだから皆左斜め前のグラウンドを観て応援している。でもその何十回とも数えられるおっちゃんの

「かーつーらーぎー————っつ！」

と叫ぶおっちゃんを私は“観たい・聞きたい”という誘惑に段々かられてきた。ところがしばらくしておっちゃんの声が聞えなくなった。誰ともなしに、「あれ葛城のオトン(父親)ちゃうか?」「トイレやろ」「ネタ仕入れに行ったんやで」「今のうちにナンか食うとるんちゃうか」「タバコやろ」「引退や」などとあちこちから聞えてくる。そうして忘れた頃にまたふと

「かーつーらーぎー————っつ！」

が始まった。なんとなく周りの人々はほっとしたかのような、それは明らかに私意外の人たちも「帰ってきたんかいな」「血管切れて死んだんちゃうかと思ったで」などと笑い声とともにゲームのゆくえとおっちゃんの声を楽しんでいる様子がハッキリと伝わってきた。

しかし葛城が実際1塁アルプス前のグラウンドで苦笑いしているのではという程大きな声で連発だ。それでも葛城が手を振ったりしない為、

（当然だ。葛城がグラウンドに居るということは相手が攻撃しているのだW）おっちゃんは

「お————っ！かつらぎ————っつ！こっち見ろ————っつ！」

から

「かつらぎ————っつ！ ●ホ————っつっつっつ！」

と叫び出した。

「オイオイ、無茶やどーW」「仕事させたれ仕事ーW」「うちら金払うとるんやで〜W！」と周りが笑いながら言う。

例えばこういう塩梅で皆どこかしらモトを取ろう、駆け引きのようにもっと面白がろう、自分をネタに周りを楽しませようという雰囲気があり、カンサイジンの“人を笑わせ楽しませることを良しとする精神”を見受けるのだった。

という訳で？最後まで選手名を使ったダジャレや、懐かしの神様仏様と崇められたガイジン選手や、川柳やらも飛び出して、なにせ笑いに事欠かない本だった。

コレは下手に“Bなんとかキャンプ”とか、セクシー・タレントの誰々が夢中になっている“コ●なんとかエクササイズ”などよりも、はるかに楽しく何にもせずただ寝転がってぼーっとしながら健康的に腹筋を鍛えられる上に、笑うことで免疫機能がアップし多少の不機嫌や病魔なんて吹き飛ばすこと間違いなしと確信する、私にとってはそんな無茶に笑えて納得できる、とてもありがたい本だった。

こういった楽しい本を読むことで、この危機的なセリーグ優勝争い中の阪神の行く末を見守り、不健康な私の心理状況を、オモカジいっぱ〜い☆とかなんとか？

パー——————ンツツツツツ☆！！！！

とメーターが振り切れる程に切り替えて楽しんでいくことにする。

● ぼちぼちいきまひよ 2008-09-27 17:40:04

<http://ameblo.jp/hot-through24/entry-10144461336.html>

阪神ファンのココロ、発想のチカラ大公開！

噂に聞いていた『プロ野球を面白くする人々**阪神タイガースファン名言珍言集—幸せのヒミツ**』が、今日いっせいに書店に並びました。（↓は紀伊国屋 阪急店。入り口正面にでーんと目立つ）



少し紹介しますと、👉

はじめに 人生はものごとを面白くしたものが勝つ

1章 阪神タイガースは人生の縮図

2章 トラキチもうなる面白ヤジ迷言珍言集—球場に行くもうひとつのお楽しみ

3章 阪神名物・助っ人外国人列伝

4章 阪神ファンが溺愛した歴代選手たち

5章 猛虎魂の超英才教育

6章 トラキチオヤジたちの遺言集

7章 阪神川柳に見るファンのキモチ

8章 甲子園—聖地のチカラ

寄稿 猛虎魂会顧問・宗教人類学者 植島啓司

なぜ阪神が好きなのか あとがき風に

豪華三大ふろくつき！

1. 阪神ファン度チェックシート
2. 初心者のための応援スタイルスタディシート
3. 六甲嵐（おろし）歌詞カード

さらに詳しい内容は、こちらのWebサイトを。

http://www.yumble.com/topics10_hanshin.html



大好評のようです！ トラキチの皆さん、是非ご覧ください！ 

今号は、以上でございます。次号につづきます！

みなさま、ありがとうございました。
猛虎魂会メンバー一同、心より、厚く御礼申し上げます。
今後とも、どしどしのご紹介をお願いいたします!!

●読者語録集 ふろく●

本書の8章「甲子園—聖地のチカラ」と「あとがき」
寄稿の顧問・植島啓司氏作の阪神川柳

「甲子園 えらいめにおうたわ こんばんも」

「だいじょうぶ ああだいじょうぶ だいじょうぶ」

ええときもアカンときも。阪神がナニな夜には、この1冊を！！